医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

「使用上の注意」改訂のお知らせ

2022 年 5 月

製造販売元　シオノケミカル株式会社

抗血小板剤
日本薬局法 クロピドグレル硫酸塩錠

クロピドグレル錠25mg「SN」
クロピドグレル錠75mg「SN」

謹啓　時下益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、標記製品に関しまして「使用上の注意」を改訂致しますのでご案内申し上げます。

今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

謹白

記

1.改訂内容[追加箇所:＿＿＿部]

<table>
<tr><th>改訂後</th><th>改訂前</th></tr>
<tr><td>
【使用上の注意】
3.相互作用
本剤は、主に CYP2C19 により活性代謝物に代謝され、CYP1A2、CYP2B6、CYP3A4 等も活性代謝物の生成に寄与する。また、本剤のグルクロン酸抱合体は CYP2C8 を阻害する。
併用注意（併用に注意すること）
<table>
<tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr>
<tr><td>省略</td><td>省略</td><td>省略</td></tr>
<tr><td>ロスバスタチン</td><td>本剤 300mg の投与後、ロスバスタチンの Cmax が 1.3 倍、AUC が 2 倍上昇し、本剤 75mg の反復投与後、ロスバスタチンの Cmax には影響せず、AUC が 1.4 倍上昇したとの報告がある。</td><td>本剤により、ロスバスタチンの血中濃度が上昇する。</td></tr>
</table>
</td><td>
【使用上の注意】
3.相互作用
本剤は、主に CYP2C19 により活性代謝物に代謝され、CYP1A2、CYP2B6、CYP3A4 等も活性代謝物の生成に寄与する。また、本剤のグルクロン酸抱合体は CYP2C8 を阻害する。
併用注意（併用に注意すること）
<table>
<tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr>
<tr><td>省略</td><td>省略</td><td>省略</td></tr>
</table>
←追記
</td></tr>
</table>

2.改訂理由：

自主改訂により「相互作用」の項を改訂致しました。

3.本情報は DSU(医薬品安全対策情報)No.308(2022 年 6 月上旬発送予定)に掲載されます。

4.添付文書情報は「医薬品医療機器総合機構ホームページ

(URL:https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html)」においてもご確認いただけます。

以上